

令和8年6月4日

令和8年第3回桂川町議会定例会

行政報告及び提案理由の説明

おはようございます。

新緑が美しい季節を迎え、田植えも順調に進んでいるようです。

気象予報によりますと、今年の「梅雨入り」は例年より遅く、期間は短いそうです。また、全体の降水量は平年並みということで、集中豪雨等による災害の発生が懸念されるとのことでした。

さて、アメリカがイラン攻撃を開始してから、3か月余りが過ぎましたが、未だに明確な終戦あるいは停戦に至っておらず、物価高騰や品不足に悩まされている世界各国の不安は増すばかりだと思えます。

また、ロシアのウクライナ侵攻についても、大国が軍事力を背景に攻め込んで人命の損傷、生活に係わるインフラ等に大きな被害を発生させています。

一日も早い平和で安全な世界秩序の構築を願うばかりでございます。

さて、本日は、令和8年第3回桂川町議会定例会を開催しましたところ、議員の皆様には、公私とも大変お忙しい中にも拘わりませず、ご出席をいただき心から感謝申し上げます。

それでは、これまでの主な行政報告及び本日提案いたします議案等の提案理由についてご説明いたします。

はじめに、「ハラスメント」対策については、これまでも申し述べてきましたように、本町ではハラスメントを重要な人権問題と捉え、特別職や議員、職員だけでなく町全体として取り組む必要があると考えています。ご承知のようにハラスメントは個人の尊厳や人格を不当に傷つける許されない行為であることから、ハラスメントを許さない空気の醸成と防止策が必要であると思っています。

現在、本町としては、あらゆるハラスメントの防止に向けた条例を制定するため、先進地の視察はじめ有識者のアドバイス等を受けながら、取り組みを進めているところです。なお、職員を対象にしたアンケート調査の実施や議会との協議を通して、実効性のある「ハラスメント防止条例」の制定を目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

次に、昨年の9月から実施しています「大学生等通学定期券購入費補助事業」については、令和7年度の実績として、実人数で96名、補助金額では総計321万3千円となっています。

本事業は、子育て世代の移住・定住や若者の流出抑制のほか、就学機会の向上や公共交通の利用促進など、様々な効果が期待できます。

また、大学生等の通学先は、福岡市・北九州市はもちろん、久留米市や太宰府市、宗像市など多岐に亘っていることから、本町が福岡県のほぼ中央に位置する地理的優位性を示す施策でもあります。なお、申請方法として電子申請も受け付けていますので、ご利用ください。

次に、生活習慣病の早期発見や健康の維持・増進を主たる目的として取り組んでいます国民健康保険の特定健診は、医療機関で受診できる個別健診と総合福祉センターで実施される集団検診があり、個別健診は6月1日から12月28日までの間に随時、集団検診は、8月から来年の2月までの間に4回実施予定です。

先月、受診券を送付いたしましたので、積極的な受診をお願いします。また、今年度から集団検診については、ラインによる予約受付も行います。

次に、ふくおか県央環境広域施設組合の状況については、現行計画の見直しを行うことを前提として、事業者については再公募を行うこととなっています。現段階では報告事項はありません。

次に、大将陣山の中腹に計画されている産業廃棄物処理施設の建設については、報告すべき大きな変化はありませんが、4月25日に特別委員会の主催で開催されました学習会は大変有意義な学習会であったと感謝申し上げます。今後も県、飯塚市と連携しながら適切に対応してまいります。

次に、桂川町新型インフルエンザ等対策行動計画を11年ぶりに策定しました。これは、令和6年7月に政府の行動計画が全面的に改訂されたこと、また、令和7年3月に福岡県の行動計画が改定されことを受けて、本町の計画についても整合性を図ったところです。

本町では、政府行動計画及び福岡県行動計画に基づく対策と連携し、発生前から流行状態が終息するまで対策を講じてまいります。

次に、プレミアム付き商品券の発行については、物価高騰の影響を受けている町民の皆様の家計支援を行うとともに、地元商工業の振興を図り、地域経済の活性化を目的に実施するものです。発行冊数は2万冊でプレミアム率は30%、電子券、紙券の販売割合はそれぞれ50%、中小限定券は2千円としています。

なお、申込受付は6月3日からで、申込締切は6月26日までです。使用期間は、7月22日から12月31日までとなっています。

次に、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、食料品などの物価高騰に対する負担軽減の新たな支援策として、住民の皆様1人あたり5千円の商品券を支給する事業を実施いたします。

対象者は、今年の5月1日を基準日として、桂川町に住民登録されている方です。商品券は500円券10枚つづりで、町内のプレミアム付き商品券利用のお店で使ってください。

商品券は、町から世帯主の方に郵送いたしますので、申請等の手続きの必要はありません。詳しくは広報けいせん、町のホームページ等を見てください。なお、利用期間は、本年の7月22日から12月31日までとなります。

次に、認定こども園の建設については、近隣住民の皆様のご協力をいただき、順調に進めているところです。現在の状況は、計画地内の用地確保が終了し、建物の基本設計及び実施設計についてはプロポーザル方式で業者選定を進めるとともに敷地内の造成工事の準備に掛かっています。

次に、本町の中学生海外派遣事業は、外国の歴史、文化、生活など直接体験することにより、国際感覚を身につけ、世界で活躍できる豊かな人間性と創造性を持った人材を育成することを目的として、今年度もフィリピンに8名の中学生を派遣します。

現地では、桂川中学校と交流に関する基本合意書を締結しているマニラ・セントラル・ユニバーシティ校との交流等を行い、8月16日から21日までの5泊6日で実施する計画です。派遣者される生徒を対象に、説明会や事前研修など派遣の準備を進めているところです。

次に、桂川町給付型奨学金制度は、能力があるにも関わらず、家庭の経済状況等により進学が困難な学生の進学を応援することを目的として昨年度創設しました。今年度は2年目を迎え、昨年度から継続している奨学生4名と新規の奨学生5名の合計9名の大学生等に対し給付型奨学金を支給いたします。

次に、学校給食費については、小学校では、令和8年度から国の「学校給食費の抜本的な負担軽減」に基づき、無償化を実施しているところです。

また、中学校では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和8年度は町独自で無償化を実施しています。

次に、本年5月18日の第2回臨時町議会に提案しました承認第11号、令和8年度桂川町一般会計補正予算（専決第1号）については、継続審査と

して文教厚生委員会に付託されました。今回、附帯工事におけるハロン消火器の採用に至った経過等について報告いたしますので、よろしくお願いいたします。

次に、町民の皆様のより豊かで健康的な生活の実現とスポーツ活動を通じた地域の活性化を図ることを目的に、田川郡福智町に拠点を置くプロ女子バレーボールチーム「カノア・ラウレアーズ福岡」とフレンドリー・タウン協定を締結しました。

「カノア・ラウレアーズ福岡」は、SVグロースリーグを舞台に活躍が期待される女子プロチームで、本町のスポーツ振興事業や各種イベント等への参画、中学校のクラブ活動やバレーボール愛好者向けの教室の開催等、幅広い世代との交流を深めていただきたいと考えています。

次に、予算関係では、議案第20号で、令和8年度一般会計補正予算（第2号）を上程しています。補正額3,325万5千円を追加し、予算の総額を78億4,702万4千円に定めようとするものでございます。

補正の主な内容は、歳入予算では16款・県支出金におきまして、保育所等給食支援費県補助金や畜産振興総合対策事業費県補助金、ふくおか学力アップ推進事業費県補助金を追加計上しています。

また、歳出予算では、3款・民生費において、私立保育所等の給食材料費高騰に係る保育所等給食支援補助金を、6款・農林水産業費では、認定農業者3名を対象にしたふくおかの畜産競争力強化対策事業補助金を、10款・教育費では、桂川中学校を対象とする「ふくおか学力アップ推進事業費」や、中屋区の地域公民館建設費補助金を追加計上しています。

以上が、令和8年度一般会計補正（第2号）の主な内容でございます。

なお、去る5月31日の出納整理期間を終えた段階で、令和7年度一般会計の繰越額として、2億6,258万8千円を見えています。この繰越金については、令和8年度に繰り越した事業に充当する繰り越し財源965万7千円と、令和8年度当初予算計上額の繰越金6千万円との差額1億9,293万1千円を、次の補正予算において追加計上しますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日もご提案します議案は、桂川町農業委員会委員の任命に関する同意案件が1件、人権擁護委員候補者の推薦に関する諮問が1件、令和8年度補正予算が1件、報告2件の計5件でございます。

人事案件については、私から、その他の議案等については、担当課長が説明しますので、慎重審議のうえ、議決賜りますようお願い申し上げます。

行政報告及び提案理由の説明とさせていただきます。どうぞよろしくお願い
いたします。